

事業所名

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

12月

25日

法人（事業所）理念		私たちは小さな変化を大切に、あなたらしさを理解しあなたの歩幅に合わせ、子どもたちに関わるすべての人々が、「わらいあふれる」未来を創っていきます。						
支援方針		障がいの程度や特性・児童・生徒が持つ個別のスキルに応じて、児童指導員・保育士・理学療法士による専門的療育の実施。特別支援教育士により一人ひとりの児童・生徒の学習のつまづきを評価し、専門知識を活かした学習支援や行動・コミュニケーションのスキルの向上の為の支援の実施。将来の子ども達の姿を見据えて自立した生活を営むことができるようにその家族や関係機関と連携を図る。						
営業時間		10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし	
支援内容								
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。心身の状態をきめ細やかに確認し、平常時とは異なった状態を速やかに見つけ、必要な対応を行う。健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身に付けられるように支援を行う。偏食に対する支援、感覚過敏や味覚障害・見た目により偏食の児童・生徒に対し食事の提供の際、必要に応じて配慮し楽しく食事ができるように支援を行う。生活におけるマネジメントスキルの育成、障がいの特性を理解しそれらが及ぼす生活上の困難さについて理解を深め、状況に応じて、自己の行動や感情を調整したり、他者に対する行動や感情の調整を取得できるよう支援を行う。自分で生活をマネジメントできるよう、自分の意向を自分で組み立てて出来る行動を増やしていく。						
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や動作の改善及び習得、筋力の維持・強化をリハビリテーションの実施やレクリエーション活動を通じて支援を行う。活動を通じて社会的な場面における移動能力の向上のための支援を行う。保有する感覚を十分に活用できるように遊び等を通して支援し障がいの状態や発達段階、興味関心に応じた補助の活用やICTを活用し機器による代行的に出来るように支援する。障がいの状態や発達段階、興味関心に応じて感覚機能を十分に活用できるように遊びやレクリエーションを通して支援を行う。リハビリテーションの実施により、日常生活、社会生活を営めるようにそれぞれの利用児童・生徒が持つ機能をさらに発達させながら適した身体的・精神的・社会的支援を行う。						
	認知・行動	一人一人の認知の特性を理解し情報を的確に処理できるように支援する。感覚の活用や認知機能の発達、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用し、認知機能の発達を促す支援を行う。取得した情報を的確な判断や行動につなげることが出来るように支援を行う。認知や行動の手がかりとなる概念の形成、大小、数、重さ空間、時間の概念の形成を図り認知や行動の手がかりとして活用できるように支援を行う。取得した情報を過去に取得した情報と照合し、環境や状況を把握・理解できるようにするとともにこれらの情報を的確な判断や行動につなげることが出来るように支援を行う。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さから生ずる行動障害の予防及び適応行動への対応の支援を行う。						
	言語 コミュニケーション	障がいの種別や程度、興味・関心に応じて意心のやり取りができるように、基本的な能力を身につけるよう支援する。相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるように支援を行う。コミュニケーションを通して事物や現象、自己の行動等に対応した言語の形成を図り体系的な言語を身につけるように支援する。人との相互作用を通じて相手と同じ物に注意を向けその行動や意図を理解、推測するといった共同注意の獲得や場面に応じた言動・対応など人との関わり方について学びを支援する。特性に応じた読み書き能力の向上の為の支援を行う。						
	人間関係 社会性	環境に対する安心、信頼、自分に対する信頼感を育む支援を行う。不安になった際に支援者が相談に乗り自分の感情に折り合いをつけることができるように「安心の基地」の役割を果たす。自己のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解し、自己を肯定的に捉える機会を通じて気持ちや情緒を調整し、状況に応じた行動ができるように支援を行う。自己を理解し集団へ参加する為の手順やルールを取得し、共に活動することを通じて、相互理解やお互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながる支援を行う。自己や他者の感情や気持ちを理解し、その場に応じた適切な行動ができるように支援する。						
家族支援		ご家族が本人の特性を理解できるように特性の理解に対する支援を行う。その特性を踏まえながら適切な育児ができるように、家庭生活において関わり方の助言や支援場面を実際に見ていただきその方法を学ぶ機会を提供する。また、家庭のみで起こる事柄について相談に乗り実際に家庭に出向いて直接支援を行う。			移行支援		地域の学童保育と連携を図り、障がいの程度に応じた支援を受けながら学童保育の場でも、集団活動が出来るように支援する。特性を踏まえた関わり方を関わる方々に助言し移行できるように支援する。進学や就職の際、障がいの程度や特性の理解これまでの支援内容や方法を情報提供し円滑に次のステージで生活を営めるように支援を行う。	
地域支援・地域連携		田川市郡障がい者自立支援協議会に所属し地域の事業所や各市町村役場の方々と福祉の質の向上に向けて取り組んでいます。			職員の質の向上		職員研修により職員の間関係の構築、それぞれの強みを生かした役割分担の実施。個別の支援会議を開催し、療育の質の向上に努める。その他学びの場である、様々な研修の機会を提供する。	
主な行事等		初詣・お花見・野外活動・お買い物体験・ピクニック・アイススケート・映画鑑賞・博物館見学・工場見学・プール・クリスマス会・お誕生日会・外食体験・ボーリング						